

## サービス業部会正副部会長会 議事録

日 時：令和4年5月19日（木）10時30～12時

場 所：オンラインおよび商工会議所 1階 小会議室

参加者：12名

【部会長】長谷川

【副部会長】立磨、大竹、砂原、横 尾、野間、横尾

【副会頭】岡部 【事務局】鈴木、白木、服部、大西

- 議 題：1) 令和3年度 部会事業報告について  
2) 令和4年度 部会事業計画について  
3) その他

はじめに、長谷川部会長より挨拶。

また、(人事異動のため)初参加の菱川氏より挨拶。

- 議題1) 令和3年度 部会事業について  
事務局より資料に沿って説明。

長谷川：部会事業報告について意見を頂きたい。銀行として昨年1年は、コロナでの融資はあまり聞かなくなった印象。事業所の方々がコロナでの経営のやり方をわかり始めたのではないか。

大 竹：当行も同様である。

白 木：当所の融資の件数も減少している。

長谷川：インボイス制度について、あまり報道等されず周知が行き届いていないと感じる。システム開発等を今始めても全く間に合わない。それ以外にも販売管理や勤怠管理等導入してこうと思うと1年くらいかける必要がある。いまやらないと！という意識を持ってもらう必要がある。

野 間：自身の会社はどうか、ということは皆気にかけているが、仕入れ業者や取引先がインボイス番号をとっているかどうか等は考えていない。本来は考え始めないといけない時期だが、本格的になるのは10月頃ではないか。ただ番号を取ったところで請求書等のシステムが今のままで対応できるかという点と難しい。

岡 部：会議所会員は小規模事業者が大半であり、自身のことととらえてもらうためにも、目的も一緒に周知した方がよい。

長谷川：「デジタル化が必要と思っているが、現状何もできていない・できない」という方が多く、ギャップが激しいと感じる。

野 間：意見ではないが、事業復活支援金の事前確認は会員だけなのか、非会員も行うのか。会員の件数が増えた、という話だったので、会員のみの対応だったのか。

白 木：会員非会員関係なく行っている。マニュアルに沿って、職員5、6人で対応している。今後も情報が欲しいのでこの機会に加入しようという方が多い。また、既存会員へは申請自体のサポートも行っている。

横 尾：お客様からはウクライナ情勢を含め、EMOTET等セキュリティインシデントの相談が増えている印象。また、IT化を進めるうえで特に必要な半導体の不足も顕著。安定供給を目指す。

長谷川：確かにサイバーテロなど、セキュリティに関しては相談が頻繁にある。銀行でもグループ会社等で全面的にサイバーテロ保険等販売して対応をしている。資源不足に関しては、サービス業界だと間接的だが、値上げ圧力等ある方もいらっしゃるので、よく考えていく必要がある。

## 2) 令和4年度 部会事業計画について 事務局より資料に沿って説明。

長谷川：メインテーマはDX化かと感じるが、意見等いただきたい。

立 磨：今朝の新聞に、自動車車検証の民間対応化が掲載されていた。半年後には設備を整えて開始されるが、現状準備ができていない方々が多くいる。電子化も準備が大変と感じる。

長谷川：銀行だと、今まで決算書等は紙だったが、今はもうほとんどデータに移行している。このように、コロナになってからかなりのスピードで電子化され、今後も加速していくだろうと思われる。これが中小企業・小規模企業だとノウハウもないだろうし、資金面も大変だが、時代は待ったなしでそこに向かっていくので、会議所やサービス業部会が、きめ細かく役に立てることを模索していきたい。

岡 部：ITコンソーシアムの計画で、ITツール登録事業者は春日井ではないとあるが、名古屋の企業から春日井の企業に紹介をもらうなどはできないか。相談先は近い方がいいのではないかな。

服 部：企業より相談を受けた際に、選択肢の一つとして事業者を紹介する流れ。多数あるツールの中でどの企業にどのツールが合っているか、というのは判断がつかない。できれば市内業者に限りたが、相談企業に合うツールが市内に必ずあるとは思えない。市内どころか、名古屋・愛知県でも難しい可能性がある。

横 尾：NTTもPit-Nagoyaに参画している。ITベンダー数も100社にのぼるが、問い合わせ数が頻繁にあるかということそうではない。啓蒙活動を並行して進めている。引き続き活動の活性化を図っていく。

岡 部：以前NTTさんから、請求書や領収書などの紙を読み取りするサービスを紹介されたが、それを低コストでやってもらえるとありがたい。

横 尾：おそらくAI OCRと呼ばれる、手書きのものを電子化するサービスかと思う。なかなか単価が高く、現状全企業が導入というところまで行っていない。小規模事業者向けにハードルを下げる必要があると考えている。

長谷川：セミナーの実績を見るとITやSNSのセミナーが多く、企業共通の課題とを感じるが、IT以外で意見等あるか。

白 木：人材育成の面で、中小企業は人が採用できないと聞いている。今まで新卒採用をメインにしてきたが、昨今中途採用も視野にということでハローワークと連携してミニ面接会のようなものを開催予定である。  
また、事業承継について、IT化と同じで時間がかかるものなので準備をしてももらいたいが、中々進んでいないところが多いため、引き続き周知をしていきたい。

岡 部：SDGsについても、すべての企業が関係のあることなので、小規模事業者も積極的に取り組むべき。

長谷川：いろいろ相談内容をお聞きしたが、現状銀行でも人がいない・定着しない、継いでくれる人がいないなど人の問題と事業承継の相談がかなり多い。  
SDGsについては、定着したのか、目的が曖昧すぎるのか不明だが、最近あまり聞かないイメージである。

岡 部：コロナで大企業が採用できなかった分、今後増えると思われる。その中で中小企業がどれだけ選択してもらえるかがカギ。旅行業界はいままで人気があったが、コロナでとても少なくなった。そのため、中途採用の間口を広げるべき。

服 部：大企業もかなり費用をかけて採用に取り組んでいる。採用に対しての助成なども要望していく必要がある。

大 竹：ITコンソーシアム（共同組織体）はどこを対象としているのか。会議所と事業者と会員が入っているのか？

服 部：会員というよりも、相談の体制づくりと、市内事業所へのPRおよび利用を広めたいということが目的。そこまで行けるかはまだ不明だが、必要不可欠な体制と思う。

大 竹：会員がデジタル化を進めるにあたり、どのようなメリットがあるということが前面に出ていない。なかなか届きにくいかもしれないが、効率化を進めて余った時間を違う仕事に充てられるなど、メリットを見えるように押し出していくべき。インボイス制度対応のような、必ずやらないといけないことをきっかけに、社内の体制を見なおし、他部分もデジタル化するような展開が叶えばよいと思う。

長谷川：インボイス等をきっかけに一気にデジタル化が進むこともあると考える。

### 議題3) その他

事務局より資料をもとに説明。

#### 部会改選について

- ・日程の確認
- ・総会時にセミナーを開催予定のため、テーマの希望があれば教えてほしい。

→立 磨：サイバー攻撃の保険に最近加入したが、実際どうということが起こり、どういう被害があるかわからない。でも何かあったときに入っていないといけない。事業者もよくわかっていないから入っていない方が多いと思うので、テーマとしてどうか。

大 竹：保険に入っていると、緊急の際初期対応をしてくれたり、業者が来てシステムの再構築をしてくれたりすることが多い。

横 尾：問い合わせが増えている事項ではある。実際はセキュリティを守ることや補償応が盛り込まれていることが多く、Pit-Nagoyaでもそういった商品を作った。

白 木：日本商工会議所でもサイバー攻撃などに対応する保険は持っている。7月頃にセキュリティに関してのセミナーを開催する案が出ているので、部会総会に合わせてもよいと思う。

長谷川：サイバー攻撃は今進めたいIT化と鏡になっているので、そういったセミナーであればフォローもできると思う。

服 部：実際の被害の内容がわかり、自社にどんな損害が出るのか、それに対応した補償がわかるセミナーがよいと考える。

岡部副会頭より挨拶

12時00分終了